

鏡川流域パートナーシップだより No.240 R7.9.3



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「著者来たる！第4回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川」を開催しました



8月31日(日)に、【著者来たる！第4回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川」と題し、「川から始める地方再生」の著者・水谷要さん(東京都在住)をお招きし、鏡川流域関係人口が集うイベントを開催しました！

現地会場である「はりまやアンサンプル(高知市はりまや町)」には、水谷さんをはじめ、鏡川流域関係人口講座3期生の藤澤佑介さんなど、5名の参加者が集いました！また、現地会場での対談の様子をZoomで中継し、北海道在住の「ぼっち」ユーザー「あいのまま」さんや、鏡川流域関係人口講座2期生の川田玄一さん(東京都在住)など、3名のオンライン参加がありました。



水谷さんが代表を務める「特定非営利法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト」は、リバーブランディング(川を起点に地域の稼ぐ力と地域プロモーションを創造すること)を通じて、地方再生の取組を進めています。水谷さんの取組の記録や地方再生についての検討などを、著書「川から始める地方再生」に記しています。



「ぼっち」を通じて応援コメントが多数届きました！このサミットをきっかけに、ユーザーの皆さんも、鏡川流域の自然環境や地域づくりについて考え、意見を寄せてくださっています。



第4回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川に参加or応援

+300 もらう

オンライン体験
リバーブランディング

「高知市民にとって鏡川はとても身近にあり、遊んだことがある川なんですよね。私が育った大阪の川は、とても入れるものではありませんでした。子育て中に住んだ大阪市内の川も身近でしたが、入ろうと思えなかった…。高知市の方が羨ましいです」

「サミット今日ですね！ここからまた発展する鏡川がどんなになるのか、わくわくしますよー」

「上流はきれいで涼しいですが、市内在住者には中流・下流の方が身近ですよね。より多くの人から、住んでよかった、行ってよかったという声は今以上に聞けますように」



水谷さんが鏡川上流域で行ったフィールドワークで得た知見をもとに話題を展開！鏡川流域の自然資源を外国人観光客にも味わってもらい、流域内外の人々を結び付けるためのアイデアを話し合いました。鏡川流域の植物や生きものとのつながりを考え、将来的に保全・共生していくために必要なことを考えることができました！

水谷さんは、9月21日(日)に、【流域の魅力を香りで楽しむ「アロマミスト作りワークショップ」】と題したイベントを開催します！鏡川流域に由来するゆずやヒノキの自然素材の魅力を体感しながら、自分だけのオリジナルアロマミストを作ることができます！鏡川流域で「リバーブランディング」に取り組む水谷さんの想いが詰まったイベントにぜひご参加ください！



詳細はこちら



アロマミスト作り



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっち」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっち」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android